

タイ王国ラヨン市・マプタプット市における 都市間連携プロジェクト

IGES北九州アーバンセンター

UNEP「CCAC都市廃棄物イニシアティブ 都市間連携プロジェクト」(2015年度～)

廃棄物から発生するメタンやブラックカーボンなどの大気中での寿命が15年以下の気候汚染物質(SLCPs)の排出削減を目的として、ラヨン市及びマプタプット市との都市間連携に基づき、FS調査・ワークショップの実施や、廃棄物分野の地域会合の開催などを行う。

【CCACとは...】

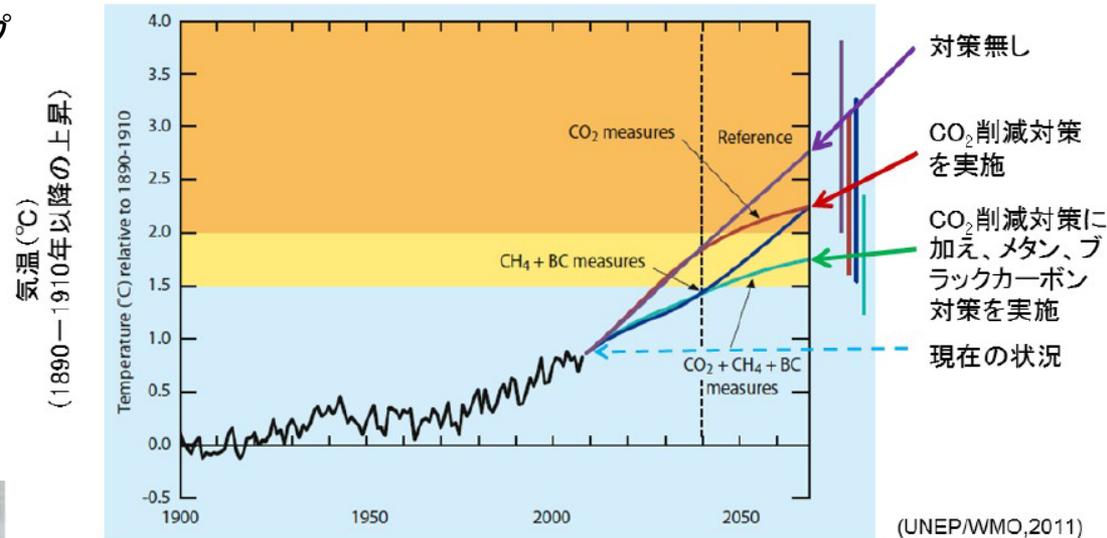
UNEP(国連環境計画)、G8諸国がメンバーとして立ち上げた「短寿命機構汚染物質(SLCPs)」の排出削減に向けた国際パートナーシップ

【SLCPsを削減するには...】

- ①廃棄物排出の削減
- ②野焼き対策
- ③有機物転用プログラムの推進
- ④埋立処分の向上、メタン回収推進
- ⑤リサイクルプログラムの策定
- ⑥廃棄物回収の改善
- ⑦持続可能な資金調達制度の実施



【SLCPs削減による温暖化の緩和】



早急なSLCPs削減策の実施により、今後2050年までの気温上昇を0.4～0.5°C軽減できる。